



10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[43]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補]、同様の活動[頻繁]、任務[車長]
当事者B	年齢[42]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24]年、階級[消防士長]、同様の活動[頻繁]、任務[車長]
当事者C	年齢[29]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長]、同様の活動[頻繁]、任務[ ]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A・C	進行方向にいる車両を確認	
経過2	A	音声により緊急車両の接近を知らせる	
経過3	A・C	2台の車両が左側に停車するのを確認	
経過4	C	通過中、後方の車両が急に前方の車両を追い越す	
経過5	C	右側へ緊急回避	
経過6	C	道路反対側の歩道から空地まで回避する	
経過7	B	回避した振動により患者がストレッチャーが激しく揺れる	
経過8	A・B	振動による容態の変化がないか傷病者を観察	
経過9	A・B・C	関係車両等に事故が発生していないことを確認して、搬送を継続する。	
経過10			

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

その他

l . その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

○ヒヤリハット事例：緊急出場中、左側へ停車した2台の車両の1台が急に前方の車両に追越をかけて接触しそうになった事例

(07H0226)

(同様の体験は、初めて体験した。)

・発生日時：平成19年3月 午後1時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	隊員C	備考	
		車長/消防司令補 ・年齢 43 歳 ・勤続 25 年 ・現場 25 年 ・同様の活動:頻繁	車長/消防士長 ・年齢 42 歳 ・勤続 24 年 ・現場 24 年 ・同様の活動:頻繁	消防士長 ・年齢 29 歳 ・勤続 12 年 ・現場 12 年 ・同様の活動:頻繁		
					突然後方の車両が前方の車両を追いついて中央線を越えて出てきた	2台とも後方の緊急車両に気がついて、左側に進路を譲ったものという思い込み

◎ヒヤリハットが起きたのはどうしてだと思うか？また、どうして負傷事故に至らなかったか

- 直接的原因：状況判断に問題があった。行動の実行に問題があった。
- ・体力、反射神経等身体能力が優れていた
  - ・避難・退避がうまくいった。
  - ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- (心理・体調について)
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。